

いわない 社協だより

岩内町社会福祉協議会

第
81
号

社会福祉法人
岩内町社会福祉協議会
〒045-0022
岩内郡岩内町字清住167
岩内町老人福祉センター内
TEL 0135-62-3328
FAX 0135-62-3859

令和4年12月1日



在宅で生活される高齢者等の手助けを日々おこなっております！

岩内町社協が行う訪問介護サービス（ホームヘルパー）は介護保険法が施行された平成12年4月より更に前の平成元年10月から「家庭奉仕員派遣事業」として町から委託を受けスタートしたのが始まりでした。当時は26名の高齢者に対し家庭奉仕員3名、看護師1名の計4名が訪問しておりましたが、平成12年には13名のヘルパーにより83名の利用者宅を訪問。現在は高齢者の他、障がいのある方も対象とし、毎月200名程度の利用者に対し、常勤ヘルパー10名、非常勤ヘルパー9名で支援が行われております。

また、介護保険サービスを利用するために必須となる利用計画の作成や調整を行うケアマネジャーを配置し、現在70名弱の利用者を担当しています。

全国的にも少子高齢化等による介護職の担い手不足が課題となっていますが、今後さらに需要が高まることが予想されるなか、これらは欠くことのできない大事な職種であります。

岩内町社協では現在ホームヘルパー及びケアマネジャーを募集しています。高齢者等が安心して暮らすことができる地域づくりを目指し一緒に働いてみませんか。これらのお仕事に興味のある方はお気軽に（電話 62-3328）までご連絡ください。

令和3年度事業報告

- 理事会 5回開催（5月、6月、12月、3月3日及び24日）
○評議員会 3回開催（4月、6月、3月）

○小地域福祉活動事業

- ・9町内会（合計805世帯）において、高齢者見守り福祉カードの作成（165世帯）及び定期的な声掛け・見守り活動（88世帯）を行いました。各町内会単位で定めた見守りが必要と思われる世帯に対し見守りカードの作成、そのうち定期的な声掛けや見守りを希望された方に対し、安否確認を兼ねた声掛け訪問などを町内会単位で実施していただきました。（年間延べ1,415回実施）

○介護保険サービス

- ・訪問介護事業 月平均191名利用（年間延べ15,445回のヘルパー訪問）
- ・居宅介護支援事業 月平均67名利用（介護サービス計画《ケアプラン》の作成）
- ・福祉用具貸与事業 月平均29名利用（電動ベッド、車椅子、歩行器、手すり、スロープ等の貸与）

○障害福祉サービス

- ・居宅介護事業 月平均8名利用（年間延べ356回のヘルパー訪問）
- ・重度訪問介護事業 月平均1名利用（年間延べ47回のヘルパー訪問）

○受託事業

- ・生活支援指導訪問事業 利用者2名（年間延べ16回の訪問）
- ・訪問給食サービス事業 月平均57名利用（年間延べ9,404食配送）
- ・手話奉仕員養成講座（岩手4町村） 受講生12名（手話奉仕員養成講座〔入門課程〕実施）
- ・日常生活自立支援事業 利用者4名（年間延べ33回の訪問及び172回の電話相談）
- ・電話サービス事業 緊急通報システム利用者に対し毎月1回電話による安否確認（月平均67名に対し年間延べ798回実施）
- ・生活支援コーディネーターの配置 現任職員2名を第一層生活支援コーディネーターとして配置
- ・住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金申請受付業務 相談件数22件（うち決定件数3件）

○赤い羽根共同募金運動（10月1日～12月31日）

○赤い羽根共同募金助成金による事業

- ・高齢者ふれあいパークゴルフ大会（7月開催 32名参加 男性16名 女性16名）
- ・要保護世帯児童修学旅行援助事業（対象者34名）
- ・ボランティア団体活動助成事業
- ・老人クラブ団体活動助成事業
- ・社協だより発行（12月）



（町内会から委託を受け実施する訪問給食サービスのお弁当）



（適正な事業運営を行うため定期的に評議員会を開催しております）

○歳末たすけあい運動（12月1日～12月25日）

○歳末たすけあい募金助成金による事業

- ・要保護世帯へ歳末見舞金支給（54世帯に支給）
- ・児童施設入所者へ歳末義援金支給（56名に支給）
- ・各福祉施設、団体へ歳末義援金支給（3団体に助成）
- ・歳末福祉パトロール（口取り配布）事業（589件に配布）

○貸付事業

- ・生活福祉資金貸付事業（実施主体：北海道社会福祉協議会）…貸付決定件数72件（うち69件は新型コロナウイルス感染症関連による特例貸付）
- ・愛情金庫貸付事業（実施主体：岩内町社会福祉協議会）…貸付件数33件

○指定管理者事業

- ・岩内町デイサービスセンター管理運営事業 1日平均13名利用（年間延べ利用者数3,674名）
- ・岩内町老人福祉センター管理運営事業 センター利用者年間延べ人数20,161名（入浴利用者数13,484名）



（社協ボランティア「いきがい」活動）
アルミ缶つぶし、タイヤ交換等年間延べ25件の生活支援活動



（生命保険協会より）
生協のカーシェアリングサービスを利用した軽自動車をお借りしました。

○ボランティア活動関連

- ・社協ボランティア「いきがい」活動 アルミ缶つぶし、タイヤ交換等年間延べ25件の生活支援活動
- ・ボランティアグループ「火曜会」活動（声かけ訪問、電話サービス）
月平均8名利用（年間延べ253回の訪問及び電話での声掛け）
- ・ボランティア保険取扱事務…9件、計149名に対しての取扱事務対応
- ・有償ボランティア活動…利用会員369名に対し協力会員43名により、合計675回の種々の支援を実施。

○その他

- ・福祉用具展示室の開設（岩内町地域交流センター1階にて介護保険でリース及び購入可能な商品の展示）
- ・手話通訳派遣事業（岩宇4町村、寿都町共同事業）年間延べ44回派遣
- ・古切手、アルミ缶、リングブルの収集
- ・福祉ベッド9件、車いす20件、ポータブルトイレ11件、歩行器3件、入浴補助用具18件の無償貸与
- ・社会福祉関係団体委任事業（岩内町殉国遺族会事務局）
- ・車いす移送サービス事業 登録利用者数78名（年間延べ1,148回運行）

令和3年度 岩内町社会福祉協議会収支決算

貸借対照表（令和4年3月31日現在） 単位：千円

令和3年度資金収支計算書 単位：千円

資 産 の 部			負 債 の 部			収入科目			支出科目		
・流動資産		27,649	・流動負債		12,769	会費収入	2,000	1,727	△273	人件費支出	110,870
現金預金	13,501		事業未払金	11,277		寄付金収入	500	555	55	事業費支出	25,567
事業未収金	14,134		職員預り金	1,399		経常経費補助金収入	13,077	13,471	394	事務費支出	13,751
立替金	4		前受金	93		受託金収入	62,093	60,971	△1,122	貸付事業支出	900
前払金	10					貸付事業収入	699	978	279	共同募金配分金	1,486
・固定資産	40,524		・固定負債	27,496		事業収入	278	173	△105	助成金支出	534
定期預金	1,000		退職給付引当金	27,496		福祉有償還事業収入	255	260	5	負担金支出	380
建 物	0		負債の部合計	40,265		負担金収入	300	300	0		
車輛運搬具	1,935		純資産の部			介護保険事業収入	69,280	69,255	△25		
器具及び備品	415		・国庫補助金等特別積立金	1,285		障害福祉サービス等事業収入	2,560	2,180	△380		
愛情資金貸付金	361		その他の積立金	11,452		受取利息配当金収入	2	0	△2		
退職給付引当資産	27,496		基本財産積立金	1,000		その他の収入	4,441	4,482	41		
財政調整積立資産	4,475		財産調整積立金	4,475		施設整備等補助金収入	972	971	△1		
基盤強化基金積立資産	2,318		基盤強化基金積立金	2,318		施設整備等寄附金収入	1,420	1,420	0	固定資産取得支出	2,392
車輛更新資金基金積立資産	2,524		車輛更新資金基金積立金	2,524		積立資産取崩収入	500	0	△500	積立資産支出	5,272
			愛情金庫積立金	1,135		事業区分間繰入金収入	1,150	0	△1,150	事業区分間繰入金支出	1,150
			・次期繰越活動増減差額	15,171		拠点区分間繰入金収入	4,719	0	△4,719	拠点区分間繰入金支出	4,719
			純資産の部合計	27,908		サービス区分間繰入金収入	12,243	0	△12,243	サービス区分間繰入金支出	12,243
資産の部合計	68,173		負債及び純資産の部合計	68,173		①当期資金収入計	176,489	156,743	△19,746	②当期資金支出計	179,264
										③予備費	11,135
						当期資金収支差額合計	④=①-②-③			△13,910	△15
						前期末支払資金残高	⑤			13,910	14,895
						当期末支払資金残高	⑥=④+⑤			0	14,880

令和4年度岩内町社会福祉協議会事業方針

- (1) 少子高齢化や住民生活の多様化などにより、住民が抱える生活課題やニーズも複雑多様化し、公的制度だけでは対応できない様々な問題が広がりを見せる中、国では、地域住民の参画と協働により、誰もが支え合う共生社会を目指し、住民が主体的に地域課題を把握して解決を試みる「地域共生社会の実現」を掲げております。
また、団塊の世代が75歳以上となる2025年を見据え、「住まい・医療・介護・予防・生活支援」が一体的に提供される「地域包括ケアシステムの構築」を実現していくことが求められております。
本会としては、生活支援コーディネーター事業や有償ボランティア活動、ふれあいネットワーク活動等の充実を図り支援が必要な高齢者等が住み慣れたまちで生きがいをもって在宅生活を継続できるよう、日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を目指し、関係機関と連携のもと推進して参ります。
- (2) 高齢や障がいにより日常生活の判断に不安がある方を対象に行っている日常生活自立支援事業は、相談件数や新規利用者も増えており、まだまだ潜在する要援護者は多くいるものと推測され、今後においても利用者が増加することも見込まれますので、支援員の確保を図るなど適正に実施できるよう努めて参ります。
また、成年後見制度の利用の促進に関する法律により、それぞれの市町村において成年後見の中核機関や地域連携ネットワーク等の体制整備が求められておりますが、認知症者の増加や日常生活自立支援事業における相談内容等を見ても岩内町における成年後見制度の利用ニーズは高まるものと推測されることから、中核機関等の担い手として期待される社協の立場からも早期の設置を目指し町と協議を進めて参ります。
- (3) 有償ボランティア活動については、除雪や草刈り、ごみ出し、外出支援など日常生活上の困りごとにに対し幅広い支援活動を実施し多くの利用者に喜ばれております。その活動は広く認知され、利用会員は年々増加しておりますが、反面、協力会員数は横ばいとなっており、その増強が課題であります。
これまでも町広報誌や防災無線等による周知募集を行っておりますが、今後も口コミでの声かけや地道な周知活動を継続するとともにボランティア団体との連携を図り、無理なく幅広い支援活動に対応できる体制づくりに努めて参ります。
- (4) 一人暮らし高齢者や高齢夫婦世帯の増加等に伴い、全国的にも孤立死や消費者被害、詐欺、虐待、老老介護を背景とする痛ましい事件等も後を絶たず問題となっております。
これらを未然に防止あるいは早期に発見し問題解決につなげるためには、普段からの関わりによる気づきが重要であります。
そのため、これまで同様、町内会等の小地域を基盤として見守り活動や援助活動などが提供できる体制（ふれあいネットワーク活動）づくりを引き続き推進し、高齢者や障がいを持つ方などが安心して暮らしていける地域づくりを目指して参ります。
- (5) 介護保険事業については、令和3年度は訪問介護事業において利用者の増加により増収増益となりましたが、4年度は報酬算定方法の見直しによる減収が見込まれる。質の高いサービスを提供する事業所を評価する特定事業所加算の新規取得を目指し減収幅の圧縮に努めるとともに適正な人員配置や労務管理に努め、継続して経営の安定化を図って参ります。
また、安心・安全にご利用いただけるよう引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底してサービスを提供するよう努めて参ります。
- (6) 在宅サービスを提供する者として利用者個々の相違を的確に見極め、適切な支援ができるよう努めるとともに、町をはじめ福祉関係機関等との連携を密にし、問題の早期発見、ニーズの明確化に努め、効果的な事業運営を推進して参ります。
また、車いす移送サービス事業については、令和2年度より社協の自主事業として実施しておりますが、利用者数や利用回数も増加しており大変喜ばれております。今年度も住民ニーズに幅広く柔軟に対応できるよう努めて参ります。
- (7) 会計業務については、内部監査や外部監査の実施により今後も継続的に適正に実施されるよう努めて参ります。
- (8) 社協の広報活動については、社協だよりの発行とともに、ホームページ等により事業活動のお知らせなど随時、効果的に発信し周知活動に努めて参ります。
- (9) 今日の厳しい社会、経済状況を反映して、社協会費や寄附金なども減少傾向にありますが、出来る限り自己財源の確保に努めるとともに、職員の資質向上に向けて積極的に研修会等へ参加し、社協基盤の充実強化を図り、各種事業が円滑に運営出来るよう努力して参ります。

令和4年度岩内町社会福祉協議会収支予算

単位：千円

資 金 収 入 の 部				資 金 支 出 の 部			
科 目	本年度予算	前年度予算	増 減	科 目	本年度予算	前年度予算	増 減
会 費 収 入	2,000	2,000	0	人 件 費 支 出	113,219	109,455	3,764
寄 附 金 収 入	500	500	0	事 業 費 支 出	28,455	25,505	2,950
経常経費補助金収入	15,050	13,046	2,004	事 務 費 支 出	13,247	12,596	651
受 託 金 収 入	67,701	62,073	5,628	貸 付 事 業 支 出	900	900	0
貸 付 事 業 収 入	799	699	100	共同募金配分金事業費	1,490	1,486	4
事 業 収 入	200	278	△ 78	助 成 金 支 出	534	534	0
福祉有償運送事業収入	265	155	110	負 担 金 支 出	380	380	0
負 担 金 収 入	300	300	0	積 立 資 産 支 出	3,064	2,772	292
介護保険事業収入	66,620	68,280	△ 1,660	事業区分間繰入金支出	1,600	2,150	△ 550
障害福祉サービス等事業収入	1,800	3,000	△ 1,200	拠点区分間繰入金支出	4,257	4,719	△ 462
受取利息配当金収入	2	2	0	サービス区分間繰入金支出	4,655	7,243	△ 2,588
そ の 他 の 収 入	1,020	1,020	0				
積立資産取崩収入	3,000	1,000	2,000				
事業区分間繰入金収入	1,600	2,150	△ 550				
拠点区分間繰入金収入	4,257	4,719	△ 462				
サービス区分間繰入金収入	4,655	7,243	△ 2,588				
当 期 収 入 額 計	169,769	166,465	3,304	当 期 支 出 額 計	171,801	167,740	4,061
前期末支払資金残高	13,590	12,410	1,180	予 備 費	11,558	11,135	423
収 入 合 計	183,359	178,875	4,484	支 出 合 計	183,359	178,875	4,484

やさしい地域の支え合い 有償ボランティア活動『たすけて』に参加を！

除雪や草刈り、日曜大工、畑起こし、ゴミ出しなどでお困りの高齢世帯、障がい世帯を対象とした日常生活支援を実施しています。

支援ボランティア1名につき1時間以内で、1回500円を基本とした地域の支え合い活動です。

地域で困っている方のために、仲間と一緒に地域貢献と生きがいを感じることでできる協力者を随時募集しています。

お問い合わせ先 岩内町ボランティアセンター ☎62-3328



日常生活自立支援事業

こんなことで
困っていませんか？

認知症高齢者、知的・精神障がい等により契約能力は保たれているものの、判断能力が不十分な方や、金銭管理に不安のある方を対象に、出来る限り地域で自立した生活を継続していくために、福祉サービスの利用援助やそれに付随した日常的な金銭管理などをお手伝いします。

①福祉サービスの利用援助（基本事業）

・福祉サービスの情報提供や利用についての手続きをお手伝いいたします。



②日常的金銭管理サービス（オプション）

・公共料金の支払いや年金、生活保護等の受領確認、預貯金からの払戻しや預け入れ等、日常的な金銭管理のお手伝い。（取り扱う預貯金口座の限度額は50万円程度を目安とします。）



③書類等の預かりサービス（オプション）

・金融機関の貸金庫に大切な書類等をお預かりいたします。
お預かりできるもの（原則、ご本人名義のみに限ります。）

(1) 預貯金通帳 (2) 年金証書 (3) 権利証 (4) 契約書類 (5) 保険証書 (6) 印鑑



◎ 詳細については、岩内町社会福祉協議会（Tel 0135-62-3328）までお気軽にご相談を！

岩内町老人クラブ連合会より「わたくしの戦前戦後体験記」のご案内

岩内町老人クラブ連合会（松本澄会長）では戦後77年が経過し、当時のことを語ることが出来る世代が年々減少していることから平和の尊さについて次世代の方々に切れ目なく伝えることを目的とし、会員の協力にて体験談をまとめた冊子「わたくしの戦前戦後体験記」をこのたび完成することが出来ました。

内容は会員による体験記（総勢35名）を始め、体験記を読まれた岩内高校の生徒さんからの投稿や岩内空襲の写真等を掲載。全151ページとし700円で絶賛販売しております。

問い合わせ先は岩内町老人クラブ連合会花田さん《岩内町老人福祉センター内（TEL 62-3328）》ご購入を希望される方はお気軽にご連絡下さい。

わたくしの
戦前戦後体験記



岩内町老人クラブ連合会

赤い羽根共同募金及び歳末たすけあい運動へのご協力をお願い致します！！

10月1日より全国一斉に赤い羽根共同募金運動が今年も始まりました。この募金は、道内の身近な福祉に役立てられており、岩内町では各地区の民生委員を始めとする奉仕員の方々が、法人、商店、町内会等に直接お願いに伺っております。つきましては例年同様ご理解を頂き募金のご協力の方よろしくお願い致します。

また、12月1日からは歳末たすけあい運動が全国一斉に始まります。この運動で集まったお金は、当会が実施する各種見舞事業（令和3年度歳末たすけあい実績参照）により、全て岩内町の福祉事業に充てられておりますので一層のご協力の方お願い致します。



歳末見舞金交付のお知らせ

岩内町社会福祉協議会では、次の低所得世帯に対し少しでも温かいお正月を迎えることができるよう、歳末たすけあい募金を財源として「歳末見舞金」を交付いたします。

（交付予定額 1世帯あたり5,000円）

※歳末たすけあい募金実績により交付金額が変動する場合があります。

- 【対象世帯】 ①75歳以上の単身世帯
②その他75歳以上の方のみで構成される世帯
★令和4年度の町民税が非課税世帯であること。
★令和3年中の収入が、単身世帯で90万円以下、複数世帯で133万円以下であること。
※年齢は数え年（昭和23年12月31日以前に生まれた方）
※生活保護受給世帯及び入院中、施設入所中の方は対象外となります。
※住民票上世帯分離していても、同じ家に住んでいる場合は同居とみなします。

【申込み方法】

- 申請窓口 岩内町社会福祉協議会または地区の民生委員。
社協まで申請に来られない方は、地区の民生委員までご連絡下さい。
- 必要なもの 印鑑、遺族年金または障害年金を受給されている方は、受給額がわかるもの
- しめきり 令和4年12月9日（金）まで
- お問い合わせ 社会福祉法人岩内町社会福祉協議会
岩内町字清住167番地（岩内町老人福祉センター内）
電話 62-3328 FAX 62-3859

令和3年度 共同募金実績

昨年度の共同募金は

戸別募金	685千円
街頭募金	44千円
職域募金	70千円
その他	546千円
計	1,345千円

併せて1,345千円と多くの方々よりご協力をいただきました。ご厚志に感謝申し上げます。

なお岩内町社協へは590千円が助成され、貴重な財源として児童福祉、老人福祉、ボランティア活動に使われております。

令和3年度 歳末たすけあい実績

収入	135件	992,311円
前年度繰越金		238,588円

助成内訳

低所得高齢者世帯	54件	270,000円
児童施設入所者	56件	112,000円
施設・団体配分	3件	100,000円
歳末福祉パトロール	589件	312,170円
計		794,170円